

第 87 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録

I. 日 時: 2017 年 10 月 18 日 (水) 13 時 30 分～17 時 20 分

II. 場 所: 日本機械学会 第 3・4 会議室

III. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川 (NIMS)、吉田 (東電 FP)、木村 (NIMS)、俣野 (KHI)、
菊原 (MHPS 呉)、森 (新日鐵住金)、長谷川 (発電技検)、長谷川 (中部電力)、
芝 (関電)

オブザーバー: なし

欠席 : なし

事務局: 原

IV. 配付資料

87-1 第 86 回材料分科会議事録 (案)

87-2 材料分科会委員名簿

87-3 第 81 回火力専門委員会議事録 (案)

87-4 第 36 回材料専門委員会議事録 (案)

87-5 第 83 回発電用設備規格委員会議事録 (案)

87-6 高クロム鋼の強度見直しに係る規格委員会書面投票 No.373 結果報告

87-7-1 表 II-1-1 JIS 年版変更評価検討票

87-7-2 新旧対比表 (補遺)

87-7-3 表 II-2-1 改訂方針、新旧対比表 (許容応力表、備考)、JIS 年版変更
検討評価票

87-8 201X 年版の火力専門委員会・規格委員会への提案に係る資料 (参考)

87-9 審議履歴表

87-10 「規格策定の手引き」(案)

V. 議 事

1. 前回議事録確認 【資料 87-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

修正箇所 P3 … V-3-(5) 8/4 → 8/4

2. 分科会委員・役員の承認 【資料 87-2】

再任委員候補として菊原委員、長谷川 (忠) 委員を火力専門委員会に推薦することが、
出席委員全員の賛成により承認された。

委員名簿において、芝委員の所属に会社名が抜けていたので修正する。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告 【資料 87-3】

8 月 28 日開催の第 81 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○第 86 回材料分科会報告

- ・発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の書面投票意見対応
- ・ASME における Gr.91 系鋼の許容引張応力見直しの動向
- ・発電用火力設備規格 201X 年版の改訂提案資料の確認

○審議結果報告

- ・発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の改訂について、規格委員会の書面投票意見対応による修正案が、編集上の修正で修正内容が妥当であることが承認された。

(2) 材料専門委員会報告

【資料 87-4】

8 月 25 日開催の第 36 回材料専門委員会の主要項目が報告された。

- 材料事象に関する解説 2014 年版の書面投票意見対応
- 新規材料採用ガイドラインにおける各材料試験に関する規格の検討状況。
- 引張試験（室温、高温）方法に関する検討状況。

(3) 発電用設備規格委員会報告

【資料 87-5】

9 月 7 日開催の第 83 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会(8/28 開催)の報告
- 発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の改訂について、以下の事項が承認された。
 - ①規格委員会の書面投票意見対応による修正案が、編集上の修正で修正内容が妥当であること。
 - ②改訂案を公衆審査にかけること。
 - ③公衆審査完了後、JESC(日本電気技術規格委員会)に省令への適合性審議を依頼すること。

(4) 規格委員会書面投票 No.373 結果報告

【資料 87-6】

- 事務局から、規格委員会書面投票 No.373（7/5～8/4）が可決となったこと及び書面投票の意見対応による修正案が火力専門委員会と規格委員会で承認されたことが報告された。
- 伊藤主査から、規格委員会の書面投票における主な意見とその回答および規格原稿の変更点について、紹介があった。

(5) 公衆審査（高クロム関係）の意見受付状況と今後の予定

公衆審査の意見受け付け状況と今後の予定について、以下のとおり報告があった。

- 公衆審査（9/22～10/23）は、本日現在ご意見はなし。
- 今後の予定
 - ・公衆審査のご意見が無かった場合、12 月 6 日の規格委員会において公衆審査のご意見なしを報告し、規格が 12 月 6 日で制定となる。

- ・12月8日（予定）に、標準・規格センターのプロセス審査を受審する。
- ・12月中旬頃に、JESC（日本電気技術規格委員会）に基本規定の省令適合性の審議を依頼。
- ・1月16日にJESCの技術会議で審議。
- ・1月下旬から1ヵ月間、JESCのパブコメ。
- ・3月6日にJESCの本委員会にて審議。
- ・審議が順調に進めば、3月中にJESCから経済産業省に規格の活用要請。
- ・3月中に出版センター会議にて、規格の出版の承認。
- ・4月頃、規格を出版。

(6) 規格策定の手引きについて

事務局から、規格委員会幹事会にて策定中の規格策定の手引き（DRAFT）について紹介があり、ご意見・要望等があれば事務局に連絡することとした。

4. 審議事項

(1) 表Ⅱ-1-1に係る、JIS 年版変更評価検討票

【資料 87-7-1】

長谷川（忠）委員から、誤記等を修正した JIS 年版変更評価検討票について説明があり、審議を行った。

○JIS G 3461

- ・備考 12 については、Si: 0.1%~0.35% → Si: 0.10%~0.35%とする。

○それ以外の箇所は本案とおり。

(2) 補遺（新旧対比表）

【資料 87-7-2】

俣野委員から、ダブルチェック結果を反映した補遺の新旧対比表について説明があり、審議を行った。

○表示を追加した A-106/A-106M について

- ・ハイフンを削除する。

○下線を引く。 and Stainless の箇所

(3) 表Ⅱ-2-1

伊藤主査から、表Ⅱ-2-1に関する改訂作業の方針、新旧対比表（許容応力表、備考）、JIS 年版変更評価検討票について説明があり、審議を行った。

○改訂作業方針の 2. の（備考で安全率 4 を示す）は削除する。

○JIS 年版変更の総括表に H3300 が抜けているので、追加する。

○許容応力表において、コメントのあった罫線が足りないところ、余分な罫線があるところは、修正する。

○許容応力表の備考

bf) → Bf)

○JIS H4000

- ・ JIS の内容 銅 → アルミ
- ・ 評価結果の記載内容を見直す。

○JIS 規格としての評価結果（全般）

- ・ 最後の評価のまとめの文章の「表記の明確化のみ」などを見直す。
- ・ 長谷川（忠）委員作成の検討評価票との表現のすり合わせを行う。

○JIS H4635

- ・ 2 ページ目の表題部 H4631 → H4635

○JIS H4650

- ・ JIS の内容 溶接管 → 棒

(4)改訂提案資料の確認

改訂提案資料について、以下を確認した。

- 1) 11/29 の火力専門委員会に提案する改訂提案の資料の構成は、①提案理由・審議経緯（鏡）、②改訂の方針・改訂の概要、③総括表（全体と各許容応力表）、④新旧対比表（各許容応力表と備考をセットにする）、⑤JIS 年版変更評価検討票とする。
- 2) ①提案理由・経緯（鏡）は、事務局が素案を作成する。②改訂の方針・改訂の概要は、三役が作成する。総括表は、吉田幹事が取りまとめる。
- 3) 許容応力表の新旧対比表は、印刷時に左側が改訂前、右側が改訂案となるように編集する。
- 4) 改訂内容が多いことなどを考慮して、発電用設備規格委員会への提案は、3月7日の委員会とする。

Ⅵ. 次回開催予定

日 時 : 2018 年 1 月 25 日（木）13：30～17：00
場 所 : 日本機械学会 第 3,4 会議室

以 上